

京都市精神障害者 地域移行・地域定着 支援事業の概要

京都市こころの健康増進センター
京都市中部障害者地域生活支援センター「なごやか」

H29.1.30（月） 京都市精神保健福祉審議会

京都市での「地域移行・地域定着支援事業」経過

- H15 京都市障害者基本計画の策定：退院促進支援を重点項目とする
- H16 精神障害者自立支援検討会議：精神に障害のある方の自立支援を検討するため平成16年6月に発足。年度内に4回の会議を実施
- H17 京都市精神障害者退院促進支援事業試行実施
京都市より「なごやかサロン」へ事業委託
- H18 京都市精神障害者退院促進支援事業実施
- H19 都道府県地域生活支援事業へ移行（京都府事業）
- H20 精神障害者地域移行支援特別対策事業
- H22 精神障害者地域移行・地域定着支援事業（政令市も事業主体）
- H24 自立支援法による個別給付へ移行

(目的)

精神障害者が住み慣れた地域を拠点とし、本人の意向に即して充実した生活を送ることができるよう、関係機関の連携の下で地域生活への移行に向けた支援並びに地域生活を継続するための支援を推進することを目的とする。

(業務内容)

- 地域移行・地域定着支援実務者会議の開催
- 地域体制整備コーディネーターの設置
- ピアサポートの活用

●地域移行支援事業とは・・・
入院中に利用できる障害福祉サービス

●地域定着支援事業とは・・・
退院後に利用できる障害福祉サービス



本人からの希望があれば利用できるサービスです。

【対象者】

●地域移行支援

* 長期入院の方

長期に入院していることから支援の必要性が相対的に高いと見込まれる1年以上の方。

* 1年未満の入院の方

特に支援が必要な方。措置入院や医療保護入院からの退院で、住居の確保などの支援を必要とする方や地域移行支援を行わなければ入院の長期化が見込まれる方など。

【対象者】

●地域定着支援

地域生活を継続していくための常時の連絡体制の確保による緊急時等の支援体制が必要と見込まれる方。

* 長期入院から退院されたばかりの方

* 地域生活が不安定な方

⇒入退院を繰り返している方など

* 家族との同居から一人暮らしに移行した方

【サービス内容】

●地域移行支援

精神科病院における地域移行の取組と連携しつつ、地域移行に向けた支援を行うこと。

具体的には、①病院訪問による面接②単独外出に繋げるための外出支援③障害福祉サービス事業所を体験利用する際の同行支援④一人暮らしに向けた体験宿泊を行う際の支援⑤定期的なカンファレンスの実施

●地域定着支援

地域生活を継続していくための支援を行うこと。

具体的には、①常時の連絡体制の確保②居宅訪問による必要な支援の実施③カンファレンスの実施

【利用の流れ】

- ①利用相談（※下記の相談窓口を参照）
- ②申請（※市町村）
- ③障害支援区分認定調査（※市町村）
- ④一般相談支援事業者の決定（※実務者会議）
- ⑤給付決定（※市町村）
- ⑥一般相談支援事業者との契約
- ⑦サービス利用開始

【相談窓口】

- 京都市こころの健康増進センター
- 京都市中部障害者地域生活支援センター
「なごやか」

【給付決定の有効期間】

●地域移行支援

6ヶ月以内。地域生活への移行が具体的に見込まれる場合には、6ヶ月以内で更新可。

●地域定着支援

1年以内。地域生活を継続していくための緊急時の支援体制が必要と見込まれる場合には、1年以内で更新可。

京都市圏域の現状（平成24～28年度）

◆地域移行支援利用病院数

24年度－2病院
25年度－5病院
（※3病院）
26年度－4病院
（※1病院）
27年度－2病院
28年度－3病院

※（ ）は京都府内・大阪府内の病院数

◆地域移行支援利用者数（新規）

24年度－2名
25年度－7名
26年度－4名
27年度－3名
28年度－9名

◆地域定着支援利用者数（新規）

24年度－0名
25年度－2名
26年度－0名
27年度－1名
28年度－1名

◆地域移行支援の実施機関

24年度－1ヶ所
・なごやか（中部）

25年度－4ヶ所
・西京（西部）
・からしだね（東部）
・ねっこの郷（南部）
・なごやか（中部）

26年度－2ヶ所
・らしく（北部圏域）
・なごやか（中部）

27年度－3ヶ所
・らしく（北部）
・にしじん（中部）
・なごやか（中部）

28年度－5か所

・らしく ・なごやか
・らくなん ・ひといろ ・くりあ

※17～23年度は補助金事業であったため、事業を受託していた「なごやか」1ヶ所のみで実施していたが、24年度以降は制度化されたため、実施機関も拡大している。

H28.12.31 現在

平成28年度の実施状況

- 地域移行支援の対象：12人（新規：9／継続：3）
- 地域定着支援の対象：2人（新規：1／継続1）
- 地域移行支援の申請先（※入院前の住所地にて申請）
 - *京都市内
中京区、上京区、東山区、下京区（2）、左京区（5）、山科区
 - *京都市外 - 宇治田原町
- 地域定着支援の申請先（※退院後の住所地にて申請）
 - *京都市内 - 中京区、上京区
- 実施結果
 - *退院：3人（アパート：2名、サポート付き高齢者住宅：1名）
 - *継続中：8人
 - *退院に至らず支援終了：1人

H28.12.31現在

平成24度～26年度 実績

		対象者数	退院者数					翌年度 継続	退院できな かった人 (※中止による支 援終了者も含む)	備考
			自宅	アパート	グループ ホーム	※ その他	合計			
24年度	継続	5	0	3	0	0	3	1	1	
	新規	2	0	0	0	0	0	2	0	
	合計	7	0	3	0	0	3	3	1	
25年度	継続	3	0	2	0	0	2	1	0	
	新規	7	0	1	0	0	1	4	2	
	合計	10	0	3	0	0	3	5	2	
26年度	継続	5	0	1	0	0	1	2	2 (※うち1名は支援 終了後に退院)	
	新規	4	0	1	0	0	1	3	0	
	合計	9	0	2	0	0	2	5	2	

(平成28年12月31日現在)

平成27度～28年度 実績

		対象者数	退院者数					翌年度 継続	退院できな かった人 (※中止による支 援終了者も含む)	備考
			自宅	アパート	グループ ホーム	※ その他	合計			
27年度	継続	5	2	1	0	0	3	1	1 (※病院で支援継続)	
	新規	2	0	0	0	0	0	2		
	合計	7	2	1	0	0	3	3	1	
28年度	継続	3	0	1	0	1	2	0	1	
	新規	9	0	1	0	0	1			
	合計	12	0	2	0	1	3			

(平成28年12月31日現在)

【地域移行・地域定着支援実務者会議】

●開催回数：9回

●参加人数：166人

第七回地域移行・地域定着支援実務者会議

- ・病院見学と併せて、宇治おうばく病院にて実施
- ・出席者：55名（※事務局含む）

※昨年度実績

第七回地域移行・地域定着支援実務者会議

- ・病院見学と併せて、川越病院にて実施
- ・出席者：42名（※事務局含む）

【普及啓発】

●実施回数：8回

●参加人数：676人

対象	派遣先	内容	参加人数
関係機関	① 第二北山病院 (作業療法士)	① 事業説明 6月20日、10月24日	① 24名
	②地域の事業所(相談事業所・就労移行事業所)	② 事業説明 8月26日、12月16日、12月21日	② 8名
	③京都府相談支援従事者初任者研修	③ 事業説明 8月29日	③ 526名
	④京都府サービス管理責任者等研修(知的・精神)分野	④ 事業説明 12月2日	④ 105名
	⑤平成28年度京都市精神保健福祉相談員資格取得講習会	⑤ 事業説明 1月12日	⑤ 13名

【研修】

●実施回数：1回

●参加人数：20名

※2/17(金)に研修会を実施予定

対象	実施場所	内容	参加人数
①相談事業所	①京都市地域リハビリテーション推進センター1階 研修室	①相談支援事業者対象に行い、実践報告や、病院からの事例を出してもらいグループワークを行う 11月25日 事業所に事前にアンケート実施(地域移行支援の実施状況等)	①20名
②関係機関	②ラポール京都	②兵庫具から柳保健所長に来ていただき講義とグループワークを行う 2月17日	②未定

【ピアサポート（養成）】
●実施予定：平成29年3月

事業名	実施場所	内容	参加人数
① 勉強会	① なごやか	① 活動の振り返り・目標設定	① 未定

【ピアサポート（活用）】
●実施回数：37回 ●参加人数：1369人

事業名	実施場所	内容	参加人数
普及啓発活動	① 第二北山病院	① OTプログラムでの交流 4月～12月 1回/週 ※7月・11月の実施は1回/月 合計30回	① 385人
	② 立命館大学	② 体験談の発表 7月4日 地域移行の支援についての説明 とピアの体験談の講演	② 210人
	③ 第6回神足ふれあい 町屋ゼミナール	③ 体験談の発表 5月28日	③ 15人
	④ 相談支援初任者研修	④ 体験談とピアの活動についての 発表 8月29日	④ 526人
	⑤ 左京こころときめき 芸術祭	⑤ 2名のピアサポーターによる 体験談発表 10月27日	⑤ 160人
	⑥ 下京こころのふれあい ネットワーク地域懇談会	⑥ 体験談の発表 11月30日	⑥ 43人
	⑦ 北区こころのキャンパス ネットワーク	⑦ 民生委員等に向けた体験談の発表 12月2日	⑦ 20人
	⑧ 佛教大学	⑧ 卒業生の勉強会での地域移行の体 験談発表 12月3日	⑧ 10人

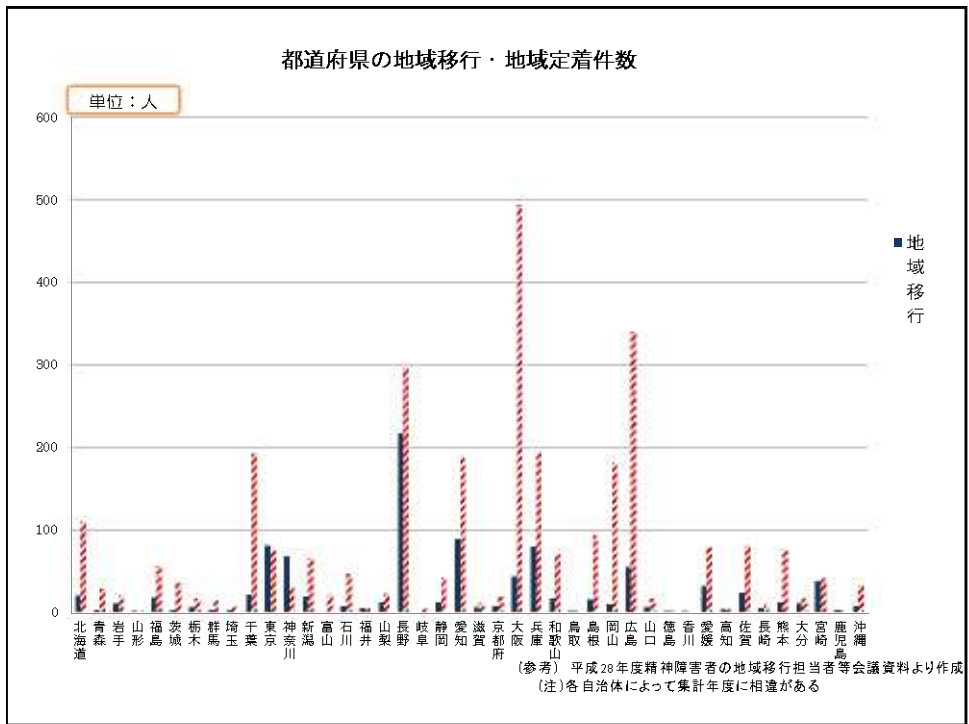
参考資料

19

都道府県の地域移行・地域定着件数

都道府県名	地域移行	地域定着	都道府県名	地域移行	地域定着
北海道	20	110	滋賀	6	11
青森	2	28	京都府	7	19
岩手	11	20	大阪	43	494
山形	1	2	兵庫	79	193
福島	18	56	和歌山	16	70
茨城	2	35	鳥取	1	1
栃木	6	17	島根	15	93
群馬	3	14	岡山	10	181
埼玉	2	6	広島	55	340
千葉	21	192	山口	6	16
東京	81	75	徳島	1	1
神奈川	68	30	香川	1	0
新潟	19	65	愛媛	32	78
富山	0	20	高知	4	4
石川	7	47	佐賀	24	81
福井	5	5	長崎	5	8
山梨	12	22	熊本	12	76
長野	217	296	大分	11	17
岐阜	0	4	宮崎	37	41
静岡	12	42	鹿児島	2	2
愛知	89	186	沖縄	7	33

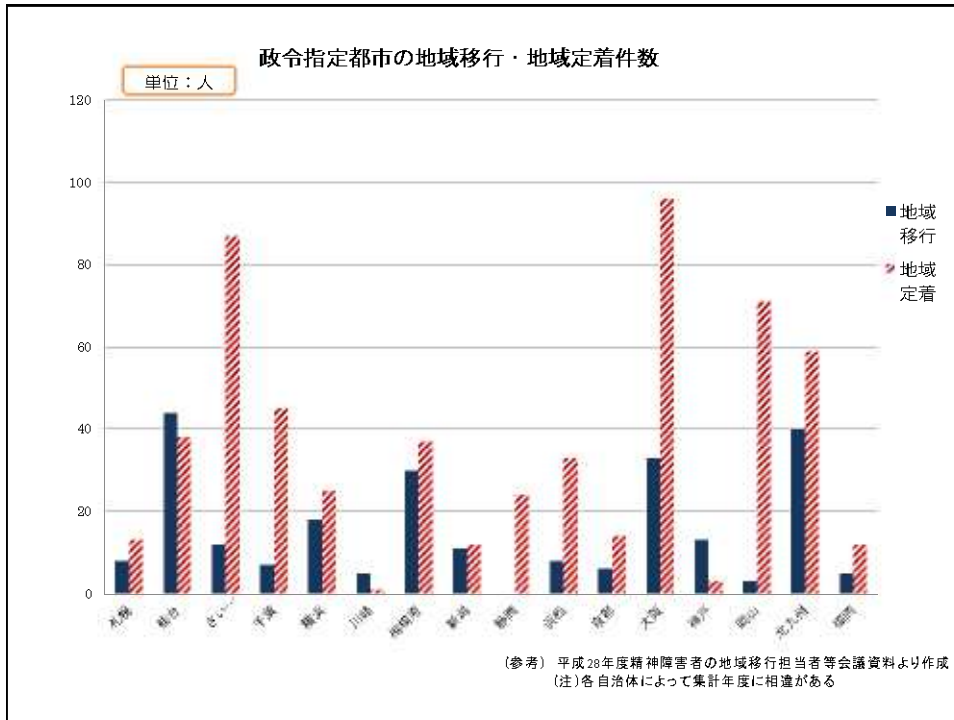
(参考) 平成28年度精神障害者の地域移行担当者等会議資料より作成 (注)各自治体によって集計年度に相違がある



政令指定都市の地域移行・地域定着件数

市町村名	地域移行	地域定着
札幌	8	13
仙台	44	38
さいたま	12	87
千葉	7	45
横浜	18	25
川崎	5	1
相模原	30	37
新潟	11	12
静岡	0	24
浜松	8	33
京都	6	14
大阪	33	96
神戸	13	3
岡山	3	71
北九州	40	59
福岡	5	12

(参考) 平成28年度精神障害者の地域移行担当者等会議資料より作成 (注) 各自治体によって集計年度に相違がある



京都市

1 京都市の基礎情報

京都市

北部圏域
西部圏域
中部圏域
東部圏域(伏見区・醍醐支所管内含む)
南部圏域(伏見区・醍醐支所管内除く)

京都府京都市

取組内容

【人材育成の取組み】

- ・地域や専門職に向けた研修や勉強会
- ・経験の浅い事業所への情報提供等

【精神障害者の地域移行の取組み】

- ・実務者会議を通じてのケースの共有
- ・ピアサポーターの活用
- ・パンフレットを使用しての普及啓発

基本情報	
圏域数 (H28年5月末)	5 圏域
人口 (H28年4月末推計)	1,475,125人
精神科病院の数 (H28年5月末)	12 病院
精神科病床数 (H28年3月末)	3,263 床 (休床除く)
	3か月未満：517人 (15.7%)
	3か月以上1年未満：448人 (18.1%)
入院精神障害者数 (H27年6月末) ※	1年以上：1,889人 (66.2%)
退院率 (H27年6月末) ※	入院後3か月時点：57.3%
	入院後1年時点：86.8%
相談支援事業所数 (H27年12月末)	一般相談事業所数：35 箇所 (うち、地域定着支援のみの事業所 2 箇所)
	特定相談事業所数：15 6 箇所
障害福祉サービスの利用状況 (H28年5月末)	地域移行支援サービス：6人
	地域定着支援サービス：14人
保健所 (H28年5月末)	1カ所 (11 保健センター)
(自立支援) 協議会 (H28年5月末)	(人材育成について議論)：専門部会なし (精神障害者の地域移行について議論)：専門部会なし
精神保健福祉協議会 (H28年5月末)	1 回/年、委員数 15人

※平成27年度630調査時点

(参考) 平成28年度精神障害者の地域移行担当者等会議資料より